

もう10年 あと10年

2月14日那須高原小学校で、授業参観を兼ねた二分の一成人式が行われました。4年生12名が写真や絵を用いてこれまでの10年間の振り返りを発表した後、家族への手紙を読みました。

幼い頃病気で入院していたことがある藤平雅翔さんからの手紙を受け取り、父の君義さんは「二十歳まで一生懸命育てていきます」と熱い気持ちで応えました。（写真上）

式の最後は児童全員で合唱曲「大切なもの」を披露し、大切な友だち、大切な先生、そして大切な家族への感謝の気持ちを伝えました。



自衛隊に入隊する町内在住高校生3名の激励会が行われました。活躍を期待します。（2/14役場正庁）



ブラーゼンの選手が町に表敬訪問しました。年間3勝、チーム総合3位を目指します。（2/15役場特別会議室）

文化センターで恐竜展開催中！



町歴史探訪館と県立博物館共催の恐竜展に町内外から連日大勢の方が訪れています。「恐竜はなぜ大繁栄したのか」をテーマに、恐竜が中生代の陸の王者として大繁栄したわけを化石の中に残された記録をひもときながら展示しています。（3月28日まで町文化センターで開催）

2月17日に開催された県立博物館学芸員による解説講座には子どもから大人まで約50名が参加し、恐竜のいた時代の説明のほか、石膏を練って行うレプリカづくりも行われました。関連講座は3月17日と24日にも開催予定です。（詳細は23ページをご覧ください）



大田原信用金庫から児童図書のための寄付をいただきました。ありがとうございました。（2/9町長室）

イベント情報

3月

那須ロープウェイ 運行開始

▼期日 3月17日

▼問合せ 那須ロープウェイ

☎(76)2449

一ツ樫の獅子舞

▼日時 3月18日(日)午後6時

▼場所 一ツ樫地内

▼内容 動きが活発で勇壮な舞です。

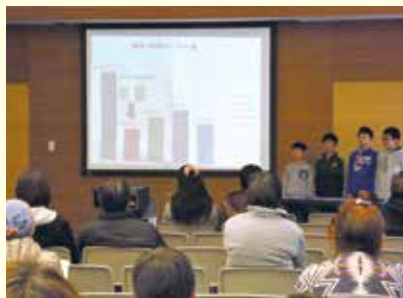
▼問合せ 那須歴史探訪館
☎(74)7007

Re:Action 黒田原をもっと素敵なまちに!

2月17日ゆめプラザ・那須で、黒田原小学校4・5・6年生と地域住民による黒田原地域創生フォーラムが開催されました。「Re:Action(再起動)」をテーマに、4年生は「福祉」、5年生は「環境」、6年生は「町づくり」の視点から地域を見直し、班ごとに研究発表を行いました。未来ある児童たちが地域と一体となって地域創生に取り組み、素晴らしい研究成果を発表してくれました。



4年生 町の高齢者と福祉
「点字のすばらしさ」



5年生 黒田原環境改善プロジェクト
「ごみ問題」



6年生 黒田原町づくりプロジェクト
「おいしい食べ物が多い町にしたい」



2月2日千振保育園で恒例の豆まきが行われました。園に届いていた「ほいくえんにいじわるやらんぼうなやつがいくかもしれない。そのときはかくごしておけよ」という予告状とおり赤鬼と青鬼がやってきて、園児たちは大騒ぎ!でも大丈夫。勇敢な年中児のミニ鬼君たちが悪い鬼を追い払ってくれました。



2月16日高久小学校で「命の週間」に合わせて犬とのふれあい活動が行われました。児童たちは「ありさんのように小さな声で」「かめさんのようにゆっくりと」「だんごむしのようにまるい手で」のルールを守って、犬の心臓の音を聴いたり特徴を観察したりして、命の大切さと思いやりの心を学びました。

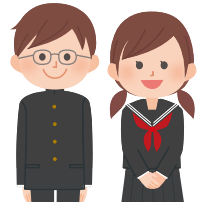


2月22日に丸山警察官駐在所の開所式が行われました。那須塩原警察署の宇賀持署長と浅田知靖駐在所勤務員があいさつしたほか、山田副町長と平山泰紀駐在所連絡協議会長がお祝いの言葉をよせました。

建物内にはコミュニティルーム、敷地内に身障者対応駐車スペースが新たに設けられ、地域住民が今まで以上に気軽に立ち寄れる駐在所に生まれ変わりました。



2月18日町文化センターで2年に1度の那須公民館主催の芸能なんでも自慢大会が開催されました。17組約300名が出場し、歌や演奏、踊りや劇などで会場は盛り上がりました。音羽町公民館のみなさん20名は「町民の歌」に合わせた元気でさわやかな民舞を披露してくれました。



大人への第一歩

那須中央中学校 立志式



2月6日町文化センターで、那須中央中学校2年生生徒の立志式が行われました。

式典では初めに、1組の稲葉夢斗さん（写真右）が、サッカー選手になる夢について書いた作文『僕の将来の夢』を朗読しました。サッカー部に入って学んだことを学校生活にも生かし、プロのサッカー選手になって今までお世話になった人に恩返しをしたいと語り、最後は「夢はあきらめなければかなうので、絶対あきらめないうで最後までやり遂げて、家族との約束を守りたいです」と、将来に向けた固い決意を述べました。この後、生徒140名がステージ上で一言ずつ「立志の誓い」を発表しました。

生徒の幼い頃と現在の写真をまとめたスライドショーが上映された後は合唱曲「あなたに会えて」が披露され（写真上）、式典の最後には、親子の手紙の交換が行われました。（写真中央）受け取った手紙を読みながら笑みがこぼれたり涙を拭いたりする姿が見られ、ともに歩んできた14年間の思い出と将来への希望にあふれた雰囲気の中、式典は終了しました。

立志式実行委員長の1組亀山晴都さん（写真左）は終了後、「スライドショーの制作が大変で前日の夜7時までかかってしまいました。無事に終わってホッとしています」と安堵の笑顔を見せてくれました。



（那須中央学校の立志式の様子は4月号でお伝えします）



地域おこし協力隊として昨年10月に着任し、那須町での生活も慣れてきました。まだ寒い日が続いています。木々にはつぼみがつき始め、少しずつ春の訪れを感じています。

私は「鳥獣被害対策」を主として活動しており、昨年末には狩猟免許を取得することができました。現在は地域の先輩猟師さんの狩猟に同行して勉強しながら、自身でも狩猟ができるよう準備を進めています。

なぜ私が鳥獣被害対策をメインに活動しているかというと、那須町に限らずここ10年ほどで全国的に鳥獣被害が深刻化しているからです。

そもそもなぜ被害が深刻化しているのでしょうか。理由としては、開発等による環境の変化、獣と人里の緩衝地帯であった里山の減少、狩猟の圧力によって獣と人里との境界線を作ってきた猟師の減少等、様々な要因が重なった結果、鳥獣被害が拡大しているのだ



先輩猟師の大越さん（左）と新川隊員

はないかと私は考えています。そこで、鳥獣被害を少しでも食い止めるために、私自身が狩猟によって獣を捕獲・駆除し、正しい鳥獣被害対策の方法を農家さんにお伝えする事ができればと考えています。

また、5年後10年後の後継者の確保のために、狩猟に関心のある若い世代に対し、狩猟がどういうものなのかを正しく伝え、狩猟と生活を両立しながら地域で暮らしていくことが出来るという事を私自身が実践して成功させることによって、伝えていきたいと考えています。

狩猟に関してはまだまだ半人前ですが、早く一人前の猟師となり、鳥獣被害を少しでも防ぐよう活動していきますのでよろしくお願いたします。



農家民泊
受け入れ農家
大平 和子さん



きらり！ No.38
まちの主演

昨年4月の農業公社の設立と同時に町内でも農家民泊の受け入れ事業が始まりました。峯岸にお住まいの大平和子さんは事業開始から受け入れ農家として積極的に活動しており、昨年は6回ほど首都圏の中高生を自宅に迎え入れました。今後さらに受け入れ体制の充実が期待される中、大平さんに農家民泊について伺ってきました。

農家民泊は普段の生活をそのまま体験してもらうこと。訪れる中高生には農作業をしてもらうほか、川遊びや近場の温泉に連れていき地域の良さを感じてもらいます。

年間100種類以上の野菜を栽培しており、野菜と一緒に収穫し料理して振舞うと、美味しいと言ってくれ、たくさん食べてくれるそうです。

また、ご主人やおばあちゃんも一緒に家族みんなで生徒たちを迎え入れて自然体で接することが、都会では味わえない雰囲気でもあるようです。3日間という短い期間ながらも、別れ際に涙する生徒が何人もいるそうで、素直な生徒たちから与えられるものもたくさんある、と教えていただきました。

野菜作りの大変さ、穏やかな農村生活の良さ、家族の温かさを体験してもらい豊かな気持ちを育ててほしい。そんな思いを込めて、大平さんは農家民泊に更に力を入れていきたいと話してくれました。

短歌

軒先の五尺の水柱手に持ちて
チャンバラをする牛飼いの子等は
牛小屋の屋根より落ちる雪解水
冷たき風に水柱は曲る

中島 君江
塩島 恵子

◎今月の遊行柳の投句は該当作品がありませんでした。

俳句

立春のまだ眠たげな那須の山
立春の産声ひびく牛舎かな
春立つや妣の味継ぐしもつかれ
立春大吉水茎美しき茶事案内
春立つや那須野を統ぶる茶白岳
しやかしやかと米研ぐ音や春の水
鳥は飛び犬は跳び越ゆ春の水
春水やつと跳ね上がる言葉尻
節分や一ト日施設で鬼の役
陽光をはね返へしをり軒水柱
明け方の小窓に春の星ひとつ
禅寺の相輪塔や風光る
春めくや立ち止まりたる花舗の軒
長靴に土の潤い春浅し
まだ咲かぬ梅の小枝にみくじ結
早春や借りたる本の重ね積み
子の手引く引かれて今も春の市
春浅し苦海浄土を残し逝く
早春の里の景観懐かしむ

井上 均
中島 君江
高久 巻江
池田 裕子
中込とし郎
丹野 セツ
井上 博子
杉本 美風
高畑 和子
田部井清子
須釜 劉子
中島 慶子
榎 かず子
角田富美子
津田イツ子
仲川 光風
長島 啓子
小森 静江
大島 昇

那須文芸

「広報那須」に広告を掲載しませんか

- 広告の大きさと掲載料
1号広告 縦5cm 横17cm 20,000円
2号広告 縦5cm 横8cm 10,000円
- 掲載方法
掲載希望発行日の2カ月前までに申込みをし、版下原稿を作成・提出してください。
- 申込み・問合せ 総務課広報広聴係 ☎72-6901

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
また、電話番号の記入をお願いします。

- 締切り 3月15日(木)
- 俳句の送付先
〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044
- 短歌の送付先
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課広報広聴係 ☎72-6901



3月1日～8日は「女性の健康週間」です!

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、国では3月1日から8日までを「女性の健康週間」と定め、女性の健康づくりを推進しています。

女性は、思春期や成人期、更年期といったライフステージごとに特有の症状や健康障害を起こしやすくなります。

これらへの対策として、女性自身が健康に関する知識や予防方法を知り、自分の健康づくりに取り組むことが必要とされています。

「妊娠中の喫煙」

妊婦が喫煙や受動喫煙をすると妊婦自身の健康を害するほか、流

産、早産、新生児の低体重や将来の肥満・糖尿病、乳幼児突然死症候群などを起こす恐れがあります。たばこをやめられないのは依存性の強いニコチン等が原因とされ治療が必要とされていますので、医師に相談しましょう。

「子宮頸がん」

子宮の入り口付近(頸部)にできるがんで、20〜30歳の若い女性に増えています。HPV(ヒトパピローマウイルス)に感染すると、90%以上は自然消滅しますが、感染が長期化すると、がんになる可能性ががあります。がんになる前の段階で定期的な検診を受けましょう。

「乳がん」

乳房にある乳腺に発生するがんで、かかる人は年々増えています。遺伝的な要因などいろいろな原因が考えられますが、欧米型の食生活やストレスが関係しているとも言われています。乳がんの症状はさまざまで、しこりを感じるなど、自分で発見できるケースも多いので、セルフチェックをかかさずに行いましょう。

「町の検診」

子宮頸がん・乳がん検診は原則2年に1度の検診です。詳細についてはお問い合わせください。

▼問合せ 保健センター
☎75 5858

献血にご協力を

冬場から春先にかけては、年間で最も輸血用血液が不足します。

皆様のご協力をお待ちしています。

■日時 3月20日(火) 午前10時～正午
■場所 役場駐車場
■問合せ 保健センター ☎72-5858

伊王野公民館

認知症ってなあに?

認知症サポーター養成講座

養成講座

認知症と物忘れの違いって何?

認知症って言葉は知っているけど、どんな病気なの? 最近の人、今までと違うかも? 家族や知人が認知症になったらどうしたらいいの? 認知症はどうやったら予防できるの?

そんな認知症の「?」を一緒に学んで認知症サポーターになってみませんか。

「認知症サポーターとは」

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「応援者」です。

▼日時 3月13日(火) 午後7時～8時30分

▼場所 伊王野基幹集落センター

▼講師 キャラバン・メイト奥木美保氏(那須ケアサービスセンター)

▼対象者 町内在住の方

▼参加費 無料

▼締切り 3月12日(月)正午

▼申込み・問合せ 伊王野公民館

☎75 0002

子育て相談支援

子育てについてお困りのことはありませんか。子育て支援センターでは、子育てに関するお話をお伺いしています。いつでもお気軽にご利用ください。

なお、平日お出かけできない方も次の日時に相談日を設けておりますので、ご利用ください。

■日時 3月17日(土)午前9時30分～午後4時
■場所 子育て支援センター
■内容 子育て不安・子どもの発達に関することなど
■問合せ 子育て支援センター ☎71-1137
※別日のご希望があるときは、ご相談ください。

那須町『にこにこ子育てママメール』のご案内



安心して出産や子育てができるように、おなかの赤ちゃんやお子さんの成長の様子とあわせて、子育てに関するアドバイスやサービスなど、タイムリーな情報を配信しています。妊婦(と家族)の方や乳幼児(3歳未満)の保護者の方は、ぜひご利用ください。

登録方法は右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。一兩日中に確認メールが届きますので、内容を確認のうえ登録ください。

■問合せ こども未来課 こども政策係 72-6959

〇にこママメール(プレママ)



〇にこママメール(子育て)



休日当番医診療のお知らせ

保健センターだより

保健センター ☎72-5858

◎「かかりつけ医」(日頃から相談している医師)を持ちましょう。
◎病気がかかったなと思ったら、昼間のうちに病院などに受診するよう心がけましょう。

期 日	医 療 機 関	所 在 地	電 話 番 号
3月18日(日)	中川医院	那須塩原市黒磯幸町6-27	62-0040
3月21日(水)	緑の杜クリニック	那須塩原市大原間西1-6-7	67-3339
3月25日(日)	塩田医院	那須町大字寺子丙1-14	72-1860
4月1日(日)	須田医院	那須塩原市高林1206-8	68-0006

＊ 変更になる場合がありますので事前に電話で確認してください。

(夜間) 受付時間…午後6時30分から
診療時間…午後7時から午後9時30分まで

毎 日	夜間急患診療所	大田原市中田原1081-4 那須赤十字病院 本館1階内	0287-15663
-----	---------	--------------------------------	------------

(昼間) 診療時間…午前9時から午後5時まで

事 業	期 日	場 所	時間および対象者
2歳児 歯科検診	3/14(水)	子育て・栄養 保健センター (ゆめプラザ・那須内)	(受付時間) 12:45~13:10 28年1月・2月生まれの方
2歳6か月児 歯科検診	3/14(水)		(受付時間) 13:20~13:30 27年7月・8月生まれの方
3歳児 健診	4/6(金)		(受付時間) 12:45~13:10 27年2月・3月生まれの方
乳幼児相談	4/5(木)		(受付時間) 10:00~10:30
ママと赤ちゃんの リフレッシュ教室	3/28(水)		(受付時間) 9:30~9:45 (対象) 生後2~3か月の赤ちゃん和妈妈
食事相談	3/22(木)		(午前の部) 10:00~ (午後の部) 13:30~ (予約制)

※4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診については4月号広報でお知らせいたします。

子育て支援センター (ゆめプラザ・那須内)

〇わくわくキッズルームの予定

「リフレッシュ教室」(要予約)

- 日 時 3月28日(水)
午前10時15分~11時45分
- 内 容 ベビーマッサージ
ママさんの交流会
- 対 象 乳幼児とその保護者
- 持ち物 バスタオル、飲み物(お子さま用)

「わんぱくれんじゃー」

- 日 時 4月4日(水)
午前10時30分~11時30分
- 内 容 手遊び・ふれあい遊び
- 対 象 乳幼児とその保護者

「わんぱくれんじゃー」

- 日 時 4月11日(水)
午前10時30分~11時30分
- 内 容 こいのぼりづくり
- 対 象 乳幼児とその保護者

子育て支援センター

- 休 館 日 火曜日・祝日・年末年始
- 利用時間 午前9時~午後5時
土曜日・日曜日も開館
していますので、お気軽
に遊びにきてください。

☎ 71-1137
Fax 72-6887



ツール・ド・とちぎ 2018 第3ステージ 3月25日(日)開催

那須町スポーツセンター10:00スタート(予定)

観戦禁止エリア以外では観戦及び応援が可能です。

このツール・ド・とちぎは、国際的な自転車競技大会のため海外のチームも参戦する日本でも数少ない自転車競技です。3月25日(日)は、第3ステージで那須町から那須塩原市、大田原市、那珂川町、那須烏山市、茂木町、益子町、真岡市、下野市、上三川町を通過し再度真岡市を目指す147kmで競われます。

メイン会場にて、那須中央中学校吹奏楽や九尾太鼓の演奏、ニュースポーツやキックバイクタイムトライアル体験などのイベントを開催します。飲食店ブースやお楽しみ抽選会もありますので、ご来場お待ちしております。

イベント 8:15~10:15

メイン会場

那須町スポーツセンター
那須町文化センター

※メイン会場のため、選手及び関係者以外の駐車はご遠慮いただきます。

臨時駐車場

ゆめプラザ那須

※メイン会場周辺のため混雑及び即時満車が予想されます。

那須スイミングドーム

那須町中央運動公園

※交通規制のご案内は、那須町広報2月号をご覧ください。

ツール・ド・とちぎに関する詳細は
<http://www.tourdetochigi.com/>

那須町に拠点を置く地域密着型ロードレースチーム

「那須ブラーゼン」がツール・ド・とちぎに参戦！！

2018選手紹介



下島将輝 西尾勇人 岸 崇仁 柴田雅之

新規加入選手



吉田悠人 樋口峻明 永吉篤弥 椎貝竜哉

直近のレース情報

- 3/17(土) 修善寺ロードレース Day-1 静岡県伊豆市 JPT3
- 3/18(日) 修善寺ロードレース Day-2 JPT4
- 3/23(金)~3/25(日) ツール・ド・栃木 栃木県全域 UC12.2
- 4/28(土) 東日本ロードクラシック Day-1 群馬県利根郡みなかみ町 JPT5
- 4/29(日) 東日本ロードクラシック Day-2 JPT6

応援よろしくお願いたします！！



那須ブラーゼン

那須ブラーゼンは、今年6年目のシーズンを迎える日本初の観光地での地域密着型ロードレースチームです。レース活動としては国内最高峰のシリーズ戦であるJBCFロードレースシリーズ「J」PRO TOUR(全日本実業団自転車競技連盟主催)を主戦場としています。シリーズ戦の優勝を目指すと共に那須に育まれたチームとして「那須=自転車」のイメージ構築により、自転車による那須地域の活性化に寄与していくことで地域に根差し、愛され、貢献するチームを目指しています。

問い合わせ：那須町生涯学習課スポーツ振興係 ☎72-5959

2月4日 みんなの集いin那須 2月10日 和い輪い学習フォーラム を開催しました

2月4日町文化センターで、町女性団体連絡協議会「さわやかネットワーク那須」主催のみんなの集いin那須が開催されました。

今年で14回目の開催となるもので、今回は「地域力ってなに？自分たちでできることを考えてみよう」をテーマに、協議会が1年かけて調査、研究した成果を発表しました。

防災・子育て支援・男女共同参画などのテーマに関し、地域の現状と課題やそれを解消するために自分たちになにができるかを発表し（写真右）、「一人ひとりが輝いて 子どもから高齢者までみんなで支え合い つながり力のある地域」を目指す地域像として第1部の研究発表を締めくくりました。

オープニングセレモニーではフラダンスサークルの「マイカイ」（写真中央）と、「マイカイクプナ」の皆さんが美しいフラダンスで会場を魅了したほか、第2部では栃木県警察音楽隊の演奏会が開催されました。警察カントリーガードによる華麗なフラッグ演技が音楽隊の演奏を盛り上げ（写真左）、また、演奏の合間に行われる犯罪防止や交通事故防止の講演はユーモアも交えて分かりやすく、会場からは拍手と笑いが起こりました。

女性として、地域の一員として町の発展のためにできることを考えるよい機会となりました。



2月10日町文化センターで町教育委員会と町PTA連絡協議会共催の和い輪い学習フォーラムが開催されました。

第1部は事例発表が行われ、高久小児童から「高久地区の歴史と本郷八木節」（写真右）、東陽小児童から「夢について考える」というテーマで発表があったほか、那須中と那須中央中の生徒会役員が会津美里町中学生との交流についてサミット形式で話し合いました。また、幸福の科学学園高校からは「町の魅力を世界に広げるためには」、「町の夢色未来創造プロジェクト」の2つの発表、那須高校からは町との交流事業の事例発表が行われ、町内の児童生徒が町の歴史や未来、そこから自分たちが学んだことを力強く表現してくれました。

第2部では教員や保護者、地域住民による「熟議」が行われ、「町の子どもたちにどう育ってほしいか」をテーマに熱い議論を交わしました。町の中学3年生が10年後の25歳になった時にどんな大人になってほしいかをイメージし、各分野の関係者から多様な意見が聞かれました。（写真中央）

また、会場入口では各校の展示のほか、黒田原小児童が地元事業者と共同で考案したクッキーやパンの販売が行われ（写真左）これらは開始早々に完売し大盛況でした。

